

Galileo® GALAXY™ 408 ネットワークプラットフォーム



Galileo GALAXY 408ネットワークプラットフォームは、Meyer Soundスピーカーシステムの包括的な制御を提供するオーディオプロセッシングおよびスピーカコントロールツールです。GALAXYプロセッサは、オープンソースのAVBテクノロジーと強力なオーディオ処理機能を活用して、1つのプラットフォームで完全なシステム管理を実現します。ツアーからインストールまで、あらゆるアプリケーションに最適です。

GALAXY 408プロセッサは、Milanの認証を取得しており、AAFおよびCRF AVBストリームを介して他のMilan認証デバイスとプラグアンドプレイでネットワークの相互運用性を実現します。Milan認証は、AVBネットワーク上のすべてのMilanオーディオが一定のレイテンシーで通信することを保証します。Milan AVBは、他のネットワークトラフィックとは共有しないネットワーク帯域幅を確保しています。Milan認定のGALAXYプロセッサは、指定されたネットワークの冗長性をサポートし、他のMilanデバイスとの相互運用性を保証します。

GALAXY 408プロセッサはCompass Control Software (MacやPCでホスト)、Compass Go iPad Appにてコントロールでき、Compass Control Softwareはオーディオルーティング、システムの最適化、プロセッシング、モニタリングのための完全なツールキットを提供しています。製品統合機能により、異なるスピーカーモデルを同一システム内で組み合わせた場合でも、各モデルの位相特性が確実に一致し、可能な限り最も一貫したコヒーレント加算を得られます。

GALAXY 408プロセッサは96 kHzのオーディオプロセッシングサンプルレートを特徴とし、A/D、D/Aコンバータは24ビット/96 kHzです。入力用のプロセッシングツールには、ゲイン、ディレイ、5バンドパラメトリックEQ、5バンドU-Shaping EQがあります。出力プロセッシングツールには、ゲイン、ディレイ、位相反転、10バンドパラメトリックEQ、5バンドU-ShapingEQ、ロー・ミッド・ビーム・コントロール(LMBC)、環境補正、HPFとLPFの同時フィルターがあります。

内蔵のサミングおよびディレイマトリックスにより、各ルーティングのクロスポイントでゲインおよびディレイの値を簡単に割り当てることができ、1つのスピーカを複数の独立処理された入力信号の出力として使用できます。

リアパネルには、Meyer Sound社のSIMオーディオアナライザーに直接接続できる2つのSIMバスポートがあり、GALAXY 816プロセッサをアナライザーのラインスイッチャーとして機能させることができます。この機能により、ユーザーはGALAXY 816プロセッサの任意の入出力から、SIMへパッチすることなく測定できます。

GALAXY 408のI/Oは以下のとおりです。

- ・入力A-Dはアナログ、AES3、またはAVB信号を受信
- ・入力E-HはAVB信号のみを受信
- ・出力1-8はアナログまたはAVB信号
- ・出力9-16はAVB信号のみ

GALAXY 816と、GALAXY 816-AES3 プロセッサは同じオーディオ処理能力を持ち、物理的な I/Oが異なります。比較についてはデータシートを参照してください。

特徴

- MacおよびWindowsベースのコンピューター用 Compass Controlソフトウェアによる完全なシステム制御、最適化、および監視
- iPad用Compass Goアプリケーションによるモバイルシステムの制御、最適化、監視
- 入出力での5バンドU-shaping
- 入力に5バンドパラメトリックEQ、出力に10バンドパラメトリックEQ
- 1オクターブあたり最大48 dBのスロープを持つHPF/LPFフィルター
- 一定の低レイテンシーシステム
- AES3入力用のオプションの非同期サンプルレートコンバーター
- クロスポイントディレイとサミングマトリックス
- ロー・ミッド・ビーム・コントロール (LMBC)
- 環境補正フィルター
- 他のMilan認定のサードパーティ製ハードウェアとの相互運用性:
 - 冗長AVBネットワークのサポートにより、オーディオを中断することなくフェイルオーバーが可能
 - AAFパケット(AVTPオーディオ形式)によるAVBタイミングデータとオーディオ信号の通信
 - CRFパケット(クロックリファレンス形式)によるAVBクロック信号の通信
 - 複数のGALAXYプロセッサ間で複数のAVB信号を同期する機能
- 選択可能な入出力電圧スケールにより、ほとんどのコンソールと互換性があります。
- SIMオーディオアナライザーシステムと統合
- 他のキャリブレーションツールに測定信号をルーティングするためのユーザー選択可能なAVB出力ポイント
- アクセス保護ポリシーにより、各オペレーターがアクセスできるGALAXYプロセッサの設定を制限可能
- AMXやCrestronなどのサードパーティ製コントローラーと簡易統合

COMPASS CONTROL SOFTWARE

Compass Control Softwareは、MacまたはWindowsベースのコンピューターにホストされた直感的なグラフィカル・ユーザー・インターフェースからGALAXYプロセッサの包括的なコントロールを提供します。コンパス・コントロール・ソフトウェアを使用すると、複数のユニットのすべての機能を制御できます。

Compass Control Softwareの主要機能とiPadのシンプルさと機動性を組み合わせることで、Compass Go Appはシステムメンテナンスと調整をより簡単かつ直感的にします。Apple App Storeから無料アプリをダウンロードし、同じWi-Fiネットワーク上のGALAXYプロセッサに接続します。



Compass Screen



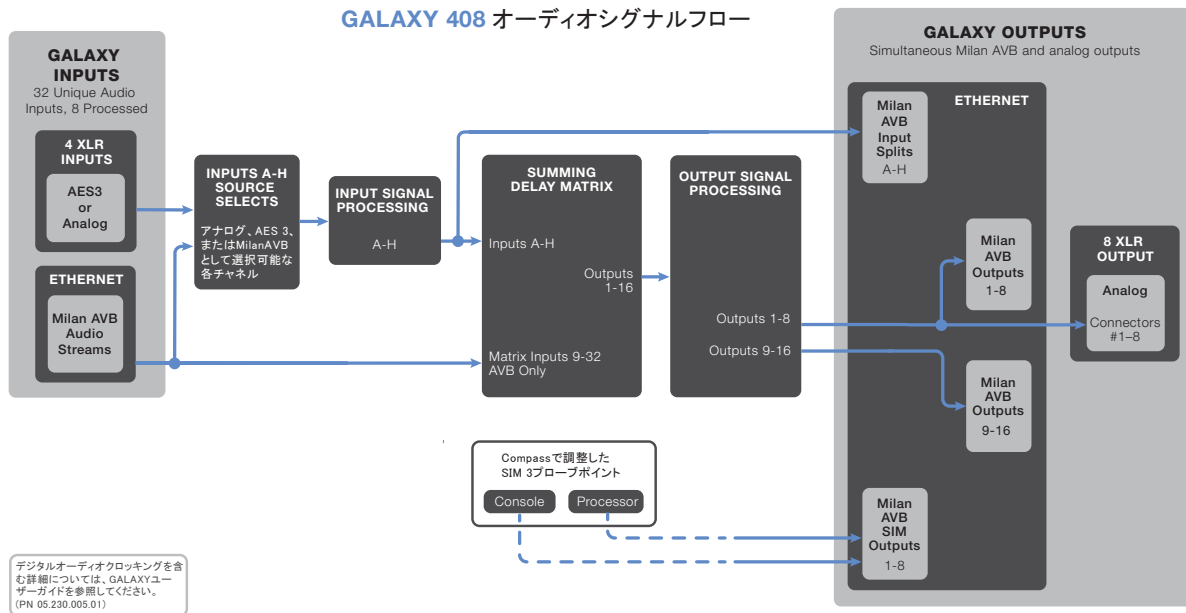
Compass Go Screen

仕様

入力	
入力コネクタ	個の金メッキ XLR-F, 2 RJ-45 ネットワークポート
オーディオインプット	アナログ, AES 3またはAVBとして選択可能な 1つの処理済み入力、および24のAVB未処理マトリックス入力
AVB オーディオシンク	8個、各AVBオーディオストリーム入力を受信可能
AVB オーディオストリーム入力フォーマット	AAF PCM-INT-32, 96 kHzまたは48 kHz、ストリームごとに1-8チャンネル
AVB クロックシンク	1個、AVBクロックストリーム入力を受信可能
AVB クロックストリームフォーマット	48 kHz CRFストリーム(インターバル=96または2msec)、プロトコルデータ単位ごとに1タイムスタンプ、単一チャンネルストリーム
選択可能最大入力レベル	+16 dBuまたは+26 dBu BAL (入力インピーダンス10 k Ω BAL)
フロントパネルメーター	各入力の4セグメントLEDラダーメーター
入力プロセッシング	ゲイン、各入力における500msのディレイレンジ (非フェー징)、5バンドパラメトリックEQ、5バンドU-Shaping EQ
出力	
出力コネクタ	個の金メッキXLR-M、2個のRJ-45ネットワークポート
アナログオーディオ出力	プロセッシング後出力1- がコネクタ1- に出力
AVB オーディオソース	6個、各8チャンネルのAVB出力ストリームを伝送可能
AVB ストリームオーディオ出力フォーマット	各8チャンネルの6つのAAFストリーム: 96 kHz PCM-INT-32 (出力1-8、9-16、SIM、および入力スプリットA-H)で4ストリーム 48 kHz PCM-INT-32 (複製出力1-8および9-16)で2ストリーム
AVB クロックストリームフォーマット	48 kHz CRFストリーム(インターバル=96または2msec)、プロトコルデータ単位ごとに1タイムスタンプ、単一チャンネルストリーム
最大アウトプットレベル	+16 dBuまたは+26 dBu (選択可能) 2 k Ω BAL (ループ型セルフパワースピーカー5台)
出力インピーダンス	50 Ω BAL (25 Ω /leg)
推奨最小ロード	ループ型セルフパワースピーカー(正味負荷=1 k Ω BAL) 10個
絶対最小ロード	600 Ω
フロントパネルメーター	LEDライト: 緑色-有効な信号の表示、赤-各出力のクリップ
出力プロセッシング	ゲイン、2000msディレイレンジ、位相反転、10バンドパラメトリックEQ、5バンドU-Shaping EQ、製品統合、ロー・ミッド・ヒューム・コントロール、環境補正、1オクターブあたり48 dBまでのスロープを持つLPF/HPFの同時フィルター。
マトリックス	
サンギングマトリックス	32 x 16サンギングマトリックス(512個のクロスポイントのうち最大232個を同時に設定可能)
ディレイマトリックス	32 x 16ディレイマトリックス;各クロスポイントでの500msのディレイレンジ (非フェー징)
プロセッシング	
デジタル変換	24ビット解像度、96 kHzサンプリングレート
内部プロセッシング	24ビット解像度、96 kHz
プロセッサ	FPGA ベースオーディオプロセッシング
ネットワークコネクタ	
ネットワークコントロール	単一または冗長ネットワーク用RJ-45ポート x 2
SIM	SIMオーディオアナライザーに接続するための1つのSIM 3/パスポート
AC 電源	
コネクタ	パワコン20
安全電圧範囲	100-240 VAC, 50-60 Hz
消費電力	
アイドル電流	115 VAC: 0.431 A rms; 230 VAC: 0.229 A rms; 100 VAC: 0.492 A rms
最大連続消費電流 (>10 sec)	115 VAC: 0.576 A rms; 230 VAC: 0.306 A rms; 100 VAC: 0.657 A rms
インラッシュ電流	<20 A ピーク

仕様

外観	
寸法	1 RU: W 483 mm x H 44 mm x D 410 mm
質量	6.0 kg
環境	
動作温度範囲	0° C to +45° C
非動作温度範囲	-40° C to +75° C
湿度	to 95% at 35° C non-condensing
動作高度	to 2000 m (6560 ft)



仕様構造

ネットワークプロセッサは、96kHzオーディオプロセッシングを含み、処理された入力(アナログ、AES3、AVBから選択可能)最大8個、処理されていないマトリクス入力24個、およびAVBまたはアナログ出力チャンネル16個に対して最大64ビットの解像度を有する可変長整数を利用します。入力チャンネルには、ミュート、ゲイン、ディレイ、U-Shaping、および5バンドパラメトリックEQのための専用の処理が含まれます。出力チャンネルには、ミュート、ゲイン、ディレイ、位相反転、10バンドパラメトリックEQ、5バンドU-ShapingEQ、製品統合、ロー・ミッド・ビーム・コントロール、環境補正、およびLPFとHPFの同時使用が含まれます。

アナログおよびAES3入力コネクタとアナログ出力コネクタは、バランス型のXLRコネクタです。システムの洗練されたデジタルマトリクスプロセッサは、信号に適用される処理に関係なく、クロスポイントディレイとGALAXY (AD/DA) の一定レイテンシーを持つ任意の入力または複数の入力の組み合わせから、任意の出力の組み合わせのルーティングとゲイン調整を可能にします。

フロントパネルには、デバイス、現在のスナップショット、ファームウェアの情報を表示する2行のLCDディスプレイ、およびオーディオ信号の測定、AVB Syncオーディオクロック、電源、コントローラー、SIM接続用のLEDインジケータを含みます。フロントパネルには、出力チャンネル用の照明付きミュートスイッチおよび信号/クリップインジケータも含まれます。

不要なパラメーターの変更を回避するために、パスワード保護を使用できます。ユニットは、GALAXYプロセッサがワイヤレスアクセスポイントに接続されている場合、イーサネット経由でMacまたはWindows®ベースのコンピューターからリモートで制御されるか、iPadからワイヤレスで制御されます。クライアントサーバーコントロールソフトウェアは、パラメーターが同期していることを確認するために双方向通信を行う必要があります。

スピーカー管理システムには、Meyer SoundのSIMオーディオアナライザーへの直接接続が含まれているため、ユニットから直接測定を行うことができます。

ユニットは、奥行き410 mm、重量7.6 kgの2スペース19インチラックマウントシャーシに収納する必要があります。そのACインレットは、不要な電源切断を防ぐためにパワコン20ロック付きコネクタです。2つのネットワークインレットは、イーサネットRJ45コネクタです。ネットワークプロセッサはMilan認証済みです。

ネットワークプロセッサはMeyer Sound Galileo GALAXY 816であり、そのソフトウェアはCompass ControlソフトウェアおよびCompass Go iPadアプリです。

